第百六十七號 NAMBEI SHIMPO 6 de Janeirode 1938

週刊南
ダスレ 地 社報 購讀
GOTO & CIA
Caixa.528-S.PAULO

サ

Sr. Seichu Quisaiken
R. Jarussú Pucomo - 409
Capital 4272

社説

從軍志願の件につき本社宛

陸軍省から感謝の辭

如何に母國官民の士氣を刺戟したるか

當局は其眞情に感激すと

【東京十二月廿七日同盟通信社發電】南米ブラジルに在留する二十万同胞中、徵兵猶豫の恩典に浴してゐる幾千の青年等は、支那事變に奮起、從軍を志願するものが日に增し、その數を加へ中には血書までして歎願するものもあり、旅費を有するものは旣に歸國して從軍しつゝあるが、多數の青年等はなんとかして歸國し第一線に參加する方法はないかと、領事館や南米新報社に訴へて來ると云ふ意味の手紙が、二十七日南米新報社から陸軍省に屆いた。手紙には、更に適當な支持を與へて呉れるやうにとあつたが、陸軍省では特別な事情が無い場合は如何んともしがたいとは云へ、この異鄕の地にあつて愛國の焰を胸に燃やす青年等の眞情に感激して、直ちに南米新報社宛感謝の返事を送つた

△去月初め本欄に於て『從軍志願の青年立往生』と題する一文を公にし、敢て我が廿萬同胞の輿論に問ふところがあつた、同時に、吾が社では軍部方面へ宛本件に關し委細を陳情して置いた處、前記同盟發電の如く去月廿七日陸軍省からは本社宛返事を送つたとある、本文起草中には直接其の返事に接してゐないから、まだ詳しいことは判らないが內外に發表された上記の電文に照合して、我が陸軍當局大體の意向を察するに難くはあるまい。

△乃ち、電文に示す如く陸軍省では特別の事情が無い限り、今のところでは、どうする事も出來ないと云ふのである、此の点甚だ遺憾ながら已むを得ないことで一般從軍を志願された人々は、當分諦めるより仕方が有るまいと想はれるが、夫れにしても、その赤誠は斯の如く軍部當局を感激せしめ延ゐて日本全國民に對して、更にまた、遠く劍を杖ついて戎旅に從ふ皇軍將士に對しては、或る意味に於てヨリよき士氣の皷舞に資した事を信じて衷心悅びに堪えないものである。

是を以て觀れば、たとひ彼等は今直ちに鬱勃たる愛國の至情を披瀝して、從軍の雄志を全うし能はぬとしても、聊かその意を安んじて可なりであると思ふ。

△敢て云ふ、海外萬里の異域、南米のハテまでも飛び出して行つた謂は、『祖國を忘れたかの如く想はれてゐた在伯同胞から』國防獻金或は銃後の應援に愛國の熱誠を披瀝するさへ、母國の人々へは異常の感激であるのに、夢にもアテにはして居なかつた其等青年の中から、祖國の危急を見ては坐視するに忍びずと爲し一命を献上し、進んで歸國從軍を志願するもの有り、と云ふ事實だけでも、母國九千萬同胞の胸に如何ばかり好影響を與へたことであらう、此の場合、歸國旅費が有るとか無いとかを問題にして屁理窟を云ふやうな、ケチな人間がブラジルには有つても母國には恐らく一人も無い筈である。

口にするだに日本國民の恥辱であるが去月廿三日の日伯紙セツソンリーブレに『自分の力で歸國旅費位出來ぬ青年が戰爭が出來るか』とか『乞食青年』だとか『神經衰弱的愛國心』だとか尊嚴なる殉國の至誠に對して恕すべからざる侮辱的言辭を弄して居る者もあるが、思へ、明治維新を斷行した我等の先輩憂國の志士等は、孰れも當時スカンピンの青年達ではなかつたか江戶や九州や四國から京都に上る草鞋錢にすら、工面に窮した程の貧乏青年ばかりであつた、時代が違ふと言ふ勿れ、おほよそ一命を投げ出して君國の爲めに盡さうとする純情の士に限つて物質的に惠まるゝことの極めて薄いと云ふのが、古今の通則である、唯だ此場合憂國の至情制へ難き日本國民としての氣持ちである、至情である、曾て鐵血宰相ビスマークの言へることあり『我れに一國の青年を示せ、然らば其國の將來をトせん』と、實に國家興隆の原動力こそ青年の士氣である、即ち純眞なる青年の犧牲的精神の如何に依り一國の興發は決定するのだ、されば青年の士氣旺盛にして殉國の至情烈々たるものあらば、國難何んぞ恐るゝに足らんや、たゞ〳〵恐るべく嚴に戒むべきは物質文明的病化より來る怯懦一片の私心のみである。

從軍志願者へ

急告

旣に領事館へ歎願書又は陳情書を提出した人及び現在志願せむとする人は左記事項を記し何卒至急本社まで御內報煩はし度し（氏名は新聞では發表しませぬ希望とあらば嚴秘します）

一氏名生年月日職業獨身か否か
一本籍地と現住所
一渡伯年月、身長と體重健康に自信ありや
一領事館へ歎願したる者は其日と領事館の所在地
一徵兵猶豫中なりや
一家族關係（若し歸國するとして後に困る者は無いか）
一何か專門に學んだ事有りや

右出來る限り本月廿日頃までに本社へ到着するやう成るべく書留郵便にて差出され度し

大割引すべき

赤露の宣傳

△赤露の首腦者が今日モスコウで鳩首凝議してゐるのは如何なる方法で日支事件に對する積極的介入を繼續するかであるが、それにしても彼等の頭痛の種子は內外の諸情勢が甚だ不利に展開されつゝあることで、現に全支に亘る支那軍の連戰連敗は如何に彼等の神經を亂させてゐることか、然も國內では反革命家の續出、第二次五年計畫の不首尾、農業だけは豐年の結果十七億ブードの收穫を出したと宣傳してゐるが、之も政策的宣傳であると云ふ証據は例年の事ながら春の蒔付時期になると、不思議と播種の不足を訴へてゐる。農業用に五十万臺のトラクターを擁してゐても收穫不良では申譯が立つまい、それに五十万のトラクターの中播種期までに徹底的修繕を要するものが廿万台以上あるといふ、此流儀から見て百五十万の大軍と元帥四人大將十八人の大量生產をしても其大半は大修繕を要する代物であると見てよろしい。

日露戰爭の經驗から

思出す心境―（二）

高田豐樹

▽……△

私が第一軍に屬し鴨綠江戰後、追擊した時の事であつた、我軍は敵を包圍して猛烈に彈丸を打ち込み、敵は一齊に後方の山に逃げ込んだ然るにその中から一箇中隊ばかりの步兵が物凄い勢で逆襲に轉じて來た、見るとその先頭には、一人の黑衣のパードレが十字架を捧げ猛然とやつて來るわが軍は勿論それに雨霰と銃火を加へたが、敵は頗る頑強で遂ひに中隊の大部分が討死する迄抵抗を止めなかつた、その頑強さにさすがの我が將兵も舌を卷いて驚いた

▽……△

其他にも勇敢なる敵部隊の先頭には常にパードレが之を誘導する如くであつたといふことだ、之に依つても勇氣と宗教の神秘的威力の關係が明かに立證される旅順の攻擊では白タスキ隊の突擊の前に本願寺の僧侶が一同に引導を渡したと云ふ事である、今次の事變にも宗教家の中に皇軍慰問に行つた者もある樣だが、たゞに慰問位でなく前記ロシヤのパードレの樣に第一線に立つ位の心があつて欲しいと思ふ

▽……△

次に戰場心理の一つとして面白いと思ふのは、イザ戰鬪に臨むと一切の俗念や雜念が消滅して上御一人の爲め國家國民の爲め、如何にして當面の敵を擊退し、以て我が隊長たり又部下に對しての大責任を全うしやうかといふ純一無雜の心的狀態となることだ、其の時には本當に生命も要らず、名も要らず、それであればこそ讀者諸君が每日の北支や上海のニュースで知らるゝ如く、鬼神も三舍を避ける樣な壯絕悽絕極りなき離れ業も演ぜられるのである、同時に又此時には團体精神も完全に發揮せられて隊長の激勵と命令一下、全員一絲亂れず恰も機械の如くに動くのである、尤も其中にも個人々々の勇怯剛膽は又別であつてこういふ時に最も勇敢なのは平素は愚鈍の樣な連中に多く、彼奴は氣が利いてゐるとか、頭が働くとか、融通が利くといふやうな連中に強い者が少いのは不思議である

▽……△

但し如何なる者でも初めて戰場に出て、敵彈が頭をかすめる時には思はず知らずお辭儀をするものだ、そしてハツと氣付いて互に顏を赤くするが、馴れて來れば何でもなくなる、又武者震ひと云ふ奴も一度は大抵經驗するものであるやうだ私が初陣の時には、冬の拂曉で寒い時でもあつたから其の故もあつたか知らぬがサアいよ〳〵敵前に散開すると云ふ時に、心身が凜然と引緊り、何となく體が震へた、別に恐ろしいのではないが一種異樣の興奮と緊張を覺ゆるのだ、丁度初心者が晴れの舞台や、學生が試驗に出る時と同じ心持ちだらう

▽……△

又明月の夜など明日の戰鬪を控へて、行軍や露營の時萬感交々至るといふ氣持ちになることがある五月三十日の鴨綠江の戰鬪の前夜、おぼろ月であつたが、人は物具の音を忍び、馬には枚を銜ませて、數千米の鴨綠江の砂礫の河原を一軍肅々として進んだが、見渡せば白露江に橫はり水光摸糊として夢の如く、思ひは自ら故山に飛んで、父や母のことがしのばれ又初陣の功名の事、明日の戰鬪の狀況など次々胸臆をかすめ、たゞ水聲の滔々たるとザク〳〵と踏む行進の響の外はこの幽寂を破る何物も無かつたことを覺えてゐるあとで聞くと其の夜は誰も皆同じであつたと云つて居つた

兎角、戰場に於ける心理といふものは實に不思議なもいであそ

日本をやッつけるなら

二個月以內だ

とボ駐支大使の進言

目下極力實際方法を研究中

【ハルビン發】先日モスコウへ急に歸り時局柄注目をひいてゐる駐支ソ聯大使ボゴモーロフ及び特別極東司令官ブリユーヘル、對スターリンとの間には對支態度につき、意見の衝突が起つてゐると傳へられ、更にボゴモーロフは駐支大使を免ぜられ、現ツルソー駐支全權ダフチヤンが彼に代つて駐支大使に任命されるであらうと噂されてゐる折柄、

近着のフェルキシエル紙の報ずる所によると、ボゴモーロフはモスコウに於てスターリンに次の如き意見を報告してゐる

『若しソ聯が今日發展しつゝある日支事件に介入する意圖あらば、何んでもかでも最近の二ヶ月間に起ち上らなければならない、然らざれば近々支那は轉覆し、日本は戰勝國として勝手な條件で支那を支配するに至るであらうと、見るべき事實が迫りつゝある

若しソ聯が將來に對し待機の姿勢を取るつもりならば、クレームリン宮に於て想像するが如く、戰爭により一層強固になつた日本と、支那に於て衝突しなければなるまい、

加之 モスコウは益々強化する日本軍が北支に於て、確固不拔の地盤を占める事實に直面しなければなるまい

斯の如きボゴモーロフの意見はモスコウ當局者の間に大なる衝擊を與へたやうで、外國人間に於てもソ聯が果して北支に於て日本に對抗して起つか、それとも從來通り積極的介入を差控へる政策に出づるか、何れに決定するであらうかと非常な興味をもつてクレームリンの雲行を見てゐる

尚ボゴモーロフの報告を要約すると次の如き**六点**に歸着する

一北支に於ける支那軍は完全に潰滅する、最早や今後二ヶ月以上戰爭を持續することは不可能である
二北支に於ける支那軍潰滅の原因は、天津以南にあつた七万以上の張學良軍が、今後抗日戰に參加することを斷乎として拒絕し、突如、武器を放棄したことである
三山西省と山東省との督軍閻錫山と韓復榘とは日本軍の連戰連勝を見て動搖す
四日本軍は目下四方面より黃河に向つて快速進擊し支那の西部と東部とをつなぐ唯一の支那鐵道幹線を脅威してゐる
五此の幹線が占領され、將來日本軍が濟南府まで進出することとなれば、ソ聯から支那に至る唯一の通路は遮斷され、その結果國民政府はその唯一の陸續きの同盟國から全く切斷されること、なる
六若しソ國が直ちに起たなければ、日本軍は支那を片づけると同時に、忽ちソ國に對し積極的行動を開始するであらう

ボゴモーロフの以上の報告に基きフェルキシエル紙はソ國が日支事件に介入せんとする意圖あることを指摘し目下極力その實際的方法を研究してゐるとの結論に到達してゐる。

殘忍な赤色テロ下に外蒙古の軍民動搖す

無智の蒙古人も漸く覺醒

【ハルビン發】バイカル地方に於て猛威をふるつてゐるスターリンの赤色テロルは、ハルハの國境を越えて今や擴大な外蒙古曠原を風靡してゐる

ソ國 政府は表面では外蒙へはその清掃工作を及ぼさすと言つてゐるが、赤い星と鎌と槌との下に實際に生活する不幸な外蒙古人らは、今日ではモスコウの暴虐を忍び、ロシア人以上に永久に血なまぐさい彈壓の恐怖下に、悲慘極まる生活をつゞけてゐる現に先頃もハルハにて赤軍政治部が外蒙軍將校の大量檢擧を行つた位で、之は外蒙古陸軍大臣デミットがモスコウへ赴く途中、怪死した直後に起つた事件で、外蒙古軍內に大動搖を起し、蒙古人の對ソ反感を益々煽つた、その時檢擧されたものは將校のみでなく騎兵隊の兵卒らも多數檢擧された

而も 彼等被檢擧者は極めて不思議な事情の中に何れも行衞不明になつてしまつたが、ソ國官憲の手で銃殺された事は周知の事實である、このゲペウの役割を演じてゐるのはソ國の共產黨政治部員である 彼等は全權をもつてゐて、その所見に從つて裁判や銃殺を行ふことが出來るので、ソ國のテロルを蒙つてゐるのは蒙古軍ばかりでなくその住民も同樣の運命に置かれてゐる

蒙古の一般住民にとつて最も悲しいことは、自分の家畜と別れることであるが、この大切な家畜は滯納税の代りに**沒收**され、バイカル地方へ送られて赤軍駐屯兵の食糧に供されつゝある

さすがに無智な蒙古人も今日では、ソ國が外蒙古を全く供給地帶とし、蒙古人にとつて迷惑な革命遂行のために、人間と物資とをこゝから徵發してゐるのだと云ふことを確信するに至つたその結果彼等の間にはソ國の支配に對する不平と不滿の念が高くなりつゝある、特に強い不平不滿を抱いてゐるのは、青年層であつて彼等青年達は一時ソ國にあこがれ、モスコウへ行つて宣傳學校や赤軍の學校に學んだことのあるもので、過般もハルハ地方で叛亂を起し、慘忍な赤色テロルによつて鎭壓されたが

一般 人心の動搖はテロルの影響により、又は隣接のバイカル地方に於けるソ國人のパルチザン運動に刺戟せられて益々強化されつゝある

嚴戒を要する外交陣

老狸國の介入

英國は虎視たん〳〵

和平會議の美名に隱れて

【東京發】皇軍の威武が極東の天地を壓倒し、世界平和の大行進を展開しつゝ、一は世界赤化の野望に狂奔する蘇聯を震駭せしめ。一は世界第一の覇道國として自己、十倍する植民地を擁し、其の民族を壓迫統治する英帝國主義の心臟を寒からしめつゝある時

狼猾なる英國は自己の不淨利權の飽くなき保護と伸長の爲め、傳統的狡猾手段を擧げて國際外交裡に陰謀畫策しつゝある。

しかして自己が今事變の重要元兇たる不逞事實を打忘れ、事變が皇軍の威武に依つて決定的になりかけるや、生かさず殺さずの意圖から周章し、調停に乘り出すべく關係國を誘つて其の擧に出でんとして居る。

今事變に關しては、第三國介入絕對的排除は當初より我國の決定的確乎不動の鐵則であつて、絕對に第三國の介入を許さざる日本の意志を承知の上で、外交戰を以て日本を壓伏すべく

次の如き所謂『和平會議案』を關係國と共に我國に押し付けようとたくらみつゝあると報ぜられて居る。即ち戰鬪を停止せしめる爲、支那のいづれかの都市に於て日支平和會議を開催し右會議に於ては和平交涉のみならず、英米其他利害關係國が招請され會議の問題については關係國間に豫め打合せをとげ

（一）和平會議は單なる外交々涉であり戰勝國と戰敗國間の會議でなく、會議の議長は第三國人がつとめる（二）同會議において支那は左の諸項の提案をなす（イ）上海及北支に於けるあらゆる戰鬪行爲の完全なる停止（ロ）稅關、鐵道、船舶航行を含めてあらゆる點で平時狀態に復歸せしめること（ハ）日支双方は上海及その近傍の重要戰略地點より一定距離だけ軍隊

（二面へつゞく）

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone : 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
→ SANTOS ←

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行部
伯貨定期預金
一ケ年 六 步

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四ーA
郵函 五二八 サンパウロ
電話 二ー一六八五番 二ー二九八一番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ ロザリーノ シルバ一四七
郵函 一一番
電話 一四七

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆郷里送金
新令に基いて御申込に從ひ申請の上許可を得て御取扱ひ致します
法令によりまして唯今の處送金々額は一ケ月一人につき二コントス以內しか出來ません
送金は無手數料で御指圖通り御取計ひ致します

◆日本貨預金
當行內地各店の定期預金又は特別當座預金とせらる、ため御送金なさる場合は前項に準じて御取扱ひ致します
定期預金利息は現在年三分三厘の割合であります
當行各店發行圓貨其他の預金證書特別當座預金等は即日可成好い相場にて御買取伯貨にて御支拂ひ致します

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

説園

日本及日本人の新年

其氣持は自ら外人とは違ふ

▽……△

樂しい嬉しいお正月、指折り數へて待ちあぐんだお正月のあまりにも、あわたゞしく過ぎ去つてしまふのを嘆いた頃の、なつかしい思ひ出――いつもは朝から晩まで忙しさうにして、なか〳〵一緒には遊んで頂けない母までが仲間入りをして下さるカルタ双六の面白さは、夜の更けると共に益々興を添へて子供達は早くおやすみなさいよ、と何度も〳〵言はれながら猶も眠い目をこすり〳〵、どうしても床に入つてしまふのが惜しくて、遂に前後不覺につぶれ女中達の手を煩はすに至つたことも、しばしばあつた。

▽……△

思へばはるかな夢のやうな、併し、強く深く心の中に印象づけられた、なつかしい繪巻の一節である、年毎になつかしさいや增す、をさな心を、とりわけてそゝりたてるお正月の行事の數々に、祖父母の代から、否、もつと〳〵昔の御先祖樣と一口に呼びなす計り知れない以前からの、語り傳へや、傳承し來つたものに對する、云ひ知れないなごやかさを感じさせられて、

新らしき年のはじめの
　うれしさは
古き人どち
　逢へるなりけり

と、云ふ古歌の味はひにも心ひかれて、その深い心境にしみ〴〵と浸らせて呉れる新年の思ひ、この『古き人どち』と云ふ言葉にも、つい近頃までは生きて居る人の遠くはなれた昔の友達とか、親類の人々とか云ふことをのみしか感じられなかつたものが、年を取るにつれて此言葉の中にも遠い〳〵昔に對する何んとも言へないあこがれにも似た思ひに心打たれて、古文書の中に現れる人々、神話傳説の世界に語りつがれる神々や祖先の名前などをしのび太古の民族的統一無雜の世界に自分も亦、住み得るやうに思はれて一入この歌の持つ深さを詠歎せずには居られない。

▽……△

故郷をはなれて、どんなに長い間の漂泊の生活を續けてゐても、矢張り年末年始の習慣は出來るだけ各々の故郷で傳へられて來つた通りを行はうとする心、形だけ乍ら神棚の飾りからお鏡餅やお雜煮やお屠蘇に至るまで『日本ではかうします』と云ふ一つの形式が、今もなほ此の異境の空に在つて一部の人々により根强く墨守されるのも、當然と云ふべきであらう。

▽……△

父母の國――まだ見ぬ日本の山川草木にさへも何んとなしに心ひかれて、日本人の店で買出して來た、乾魚の一尾にも『遠い祖國の香り』を嗅ぎ出さうとする子供たちへは、まことに、『日本のこゝろ』を語り聞かせる好い機會、このお正月に如くはない、お正月は何のために祝ふのか、お鏡餅やお雜煮やお祝膳の意義などを語り聞かせるところに、謂ゆる日本精神が自ら培養されるであらう。

斯くして、我々海外異境に漂泊するものは、いつもは浮世の煩はしき生活のなやみに捉はれて、忘れがちな『魂の故郷』へ子供達と共に、せめて時折りは立ちかへつて心ゆくまで思ひ出の世界におぼれて見たいものではないか。

▽……△

たらちねの
　みをやのをしへ
　　あらたまの
としふるまゝに
　　身にぞしみける

の御製にもあるやうに日本の懷古的な行事の中に秘められた數々の敎へ草を謙虚な心から一つ〳〵と摘みとるとき、遙々と過ぎ去つたおさな心の底の底に刻みつけられた民族的傳統の根强さを味はひ、有難き親の恩に感泣すると共に、このよき親を與へられ、このよき祖先の血を承けつぎ、更に萬世に搖ぎなき皇運燦として君臨まします天皇の尊さ、大御心の辱なさをいやまして、深く畏く讃へ奉らずには居られない、かく日本及び日本人の新年はその氣持ちに於て全く外國人とは趣きを異にし、永劫に變らぬ輝きを以て傳へられるのである。

我國際情勢の急迫と三國防共協定

伊國の滿洲國承認で

經濟的意義いよ〳〵深し

【東京發】日獨伊防共協定成立は日獨、伊三國の政治的連繫を益々不動なものとし、從つて我が國の國際政治上に於ける地位を一層强化することについては、我が財界方面でも勿論多大の關心を拂つて居るところであるが、更にイタリーの滿洲國承認で一層意義を增して居る、一昨年成立した日獨防共協定に對し、當初は單に政治的視角からのみ觀察せんとする傾向にあつた財界が、最近國際情勢の急迫につれ次第にその經濟的意義を認識せんとする方向に向ひつゝ、あるだけに今回イタリーの日、獨防共協定參加に對しては一面、國際對立の激成に多少の警戒を拂ひながらも日獨防共協定成立當時に較べて遙かに强く經濟的關心を注いで今後の推移に望まんとしてゐることは注目に値する、元來通商方面から見た場合に吾が國とイタリーの關係は歐洲諸大國間にあつて、すこぶる貧弱なものであり昭和十年度に於ける對伊輸出は綿織物、屑糸、眞綿、絹織物等を主に、わずかに六百九十八万九千圓、對伊輸入は機械及び同部分品その他五百八十三万二千圓に過ぎなかつたところ伊、エ戰爭以來はイタリーに於ける爲替管理强化、その他の事情に禍されて日伊貿易は次第に下向して居るが日、獨伊三國間の通商關係は現存左の通りである

日本の對伊獨輸出入（昭和十一年度）

△イタリー

輸出	四百四十六万八千圓
輸入	三百六十六万六千圓

（昨年一月より九月）

輸出	四百六十一万六千圓
輸入	三百五十八万九千圓

△ドイツ（昭和十一年度）

輸出	三千五百五万四千圓
輸入	一億千五百四十九万九

（昨年一月より九月）

輸出	三千百五十七万千圓
輸入	一億三千百一万一千圓

尙昭和十一年度に於ける滿洲國と對伊獨貿易は次の如くである

△イタリー

輸出	四百三十万三千圓
輸入	七十万一千圓

△ドイツ

輸出	三千五百三十一万圓
輸入	一千三百四十八万五

我國とイタリーとの關係は歐洲大國間に於いて、すこぶる貧弱なもので、殊に伊エ戰爭以後イタリーに於ける爲替管理强化その他により昭和十一年度日、伊の貿易は右の通り急激し更らに伊エ戰爭のため年額一千万圓に上る綿布、雜貨のエチオピア向き輸出が杜絶狀態におちいつたが、今回のベルリン・ローマ・東京樞軸の强化を杆とする日、伊、獨三國の政治的接近は當然通商再建に發展すべく、また近くイタリー全植民地を包含する新通商協定が成立すれば面目は一新されるものと見られる、現在我が國からイタリーに逾出するものは綿織物屑糸、玩具、製帽用眞田、ブラッシュ等、輸入は自動車部分品、染料、機械及び同部分品であるが今後エチオピア方面への綿布、雜貨類の輸出は復活し伊領東アフリカに工業鹽とのバーター制が布かれる外軍需工業殊に航空機製作工業に於いて優秀な技術をイタリーから注入する機運が新らたに生れて居ることも注目されて居る、イタリーの日、獨防共協定參加に關する交渉と併行して今春來ローマに於いて續行されて居た日、伊通商協定に關する交渉は、杉村大使の努力によつて、去る九月相互の意見が殆んど一致して居たが、日、獨、伊三國防共協定の成立にも刺戟されて、この程最後的一致點に到達した、よつて案文を作製次第夫々國內手續きを了り正式調印完了の上、近く全文を發表することゝなつた、同協定はエチオピアに於ける帝國の既得權益確認を中心とし、イタリーの全植民地に於ける日、伊通商關係の再建を主目的とせるものである、かくして日、伊兩國の關係はいよ〳〵親善の度を增し、相ひ提携して世界恒久の平和確立に邁進することゝなつた。

滿獨協定を擴充し三角貿易强化

經濟提携陣は必死の補强

【東京發】日、滿兩國ならびにドイツの經濟關係は滿獨通商協定ならびに昨年締結の日獨防共協定を樞軸にして、次第に緊密の度を加へて來たが、支那事變の勃發を契機とする我が對外通商危機と、日滿を通する生產擴充政策の施行に刺戟されて、經濟同盟にまで昂められんとし、伍堂國民使節のドイツ派遣はわれに對し更らに拍車をかけんとして居ることは注目に値ひする、即ち滿洲國に於いては滿獨通商協定により、一ヶ年一億圓限度の物資をドイツに輸出する代りドイツから最高二千五百万圓を限度として輸入することになつて居たが、最近滿洲產業開發五ヶ年計畫の强力的遂行に伴ひ、ドイツよりの機械類の輸入も次第に增大し、殊に別項昭和製鋼所の畫期的增產計畫はその設備資材の大部分をドイツに仰ぐことになつて居り、それだけで恐らく一億圓を突破するものと觀られて居る、こゝに於いて滿洲國政府當局では、滿獨通商協定を現在の限度一億圓から二億圓內外に擴充すると共に、相當額のクレヂットを設定せんと工作を進めて居る、而して滿獨通商協定の擴充に對しては日本政府に於いても多大の關心を持ちこの際日、滿、獨の三角貿易を發展せしむるために滿獨通商協定を日滿、獨との協定に改變すべく外務省に於いては目下駐獨大使館を通じてドイツ政府と交渉せしめて居る模樣で、伍堂使節訪獨後は日本財界の要望に基き、これが側面的促進に努めることゝなつた、尙ほ日獨通商關係の現狀を見るに、昨年度に於ける對獨輸入一億二千五百五十万圓、同輸出三千五百五万四千圓となつて居たが、本年度に入り我が生產力擴充政策の遂行に伴ひ、貿易額は急激に膨張し、八月末累計を以て對獨輸入は既に一億二千万圓を突破し又對獨輸出も前年同期より五百万圓を增大して居る、斯く日本並に滿洲國の對獨輸入が急激、增進する以上ドイツ側に於いても對日、滿輸入の增大に努むるは當然で、互助提携の精神に基く三國通商協定の締結は必死なりと見られて居る

惡貨が驅逐される逆現象の北支

是れも一つに皇軍の威力

【天津發】北支那の通貨も遂に日本貨の一色に塗りつぶされやうとする事態が現はれた、天津の某紙に英租界の大百貨店ホワイト・ウエーが『お買上品は一元は一圓で計算します』と廣告した。これを言葉を換へて云へば、圓對元をパーに扱ふと云ふことだ、現在の爲替相場九十二元五十セントでは大きな異變に違ひない、もと〳〵日本商人の活躍で圓は雜貨屋から飲食店、それから旅舘にと飛んで、よほどの慾張り者でない限りは、日本の圓に進んで居たが、最後には支那商人までを日本貨幣に引きづゝて、中原公司などの大百貨店までが完全に圓も元も同じ計算となつて居た、それがさらに英租界にまで波及したのだから、まづ日本人たるもの溜飮が下つた思ひをしたものである、これも一つは皇軍の威力で、この日本貨幣は單に京津の都市にかぎらず、最近朝鮮銀行の行員が戰線からもたらした話によると、皇軍の進むところ、その背後の金融には日本の圓錢貨が通るだけではなく、彼等にも剩錢をなるべく支那紙幣で出して、日本貨を秘藏するやうな傾向まで見られたし、いはゆる惡貨は良貨を驅逐するでなしに良貨は惡貨を驅逐する逆現象が皇國の信用に反映し出したとのことである。

傷病兵の保護策に滿全を期する法案

【東京發】今回の支那事變で、名譽の戰傷を受けたり羅病した兵士の保護問題につき內務省社會局では出來る限りの感謝と温情を以つて保護を加へねばならぬとして種々對策を練つた結果、次のやうな法案を以つて研究立案を進め、是れに伴ふ豫算ならびに法律案は今議會に提出する方針を決定した即ち傷兵に對しては陸海軍當局で充分の治療を加へた後除隊することになつて居るが除隊後に於て傷のあとが痛んだり簡單な手當を加へる必要の兵士に對して、更らに十二分の療養を與へるための施設及び國立療所を增設する、斯ふした設備の下に全快した兵は夫々出征前の職場に入營者職業保障法の規定により復職させ手や足を負傷のため失なしたりして自由が利かなくなつた者に就いては全國數ヶ所に職業補導所を設置し、職業を得るまで十分の指導をしてから內務當局職業課が一人の失職者もないやう努力し尙ほ適當の職業が得られぬ者のためには國家が責任を以つて就職斡旋に乘り出すため社會行政上劃期的な强制雇傭を斷行する方針の下に、適當な立法を制定する、內務省社會局では明年度保健社會省豫算として軍事扶助費の增加四千万圓ならびに軍人援護事業の充實に要する經費一千万圓を計上、原案通り決定したが、軍事扶助費は其の既定經費四百二十万圓と合計すれば實に四千四百二十万圓の巨額に達する、軍人保護事業の充實費一千万圓は遺家族扶助に關し扶助法其の他の法律の及ばぬ點を補ひ法の欠陷を是正し万遺憾なきを期する事となつた

河北省產の棉花を輸出促進計畫

北支經濟活動復活第一着手

【大阪發】事變以來中絶してゐる北支經濟活動の應急的復活策につき我が關係當局では治安維持會ならびに地方自治會と協力して鋭意研究中であるが、其の第一着手として河北省產棉花の對日輸出促進により現地に購買力を供給し、一般商取引の復舊を圖る方策を樹立し近く實現を見る運びとなつた旨曩大阪東亞輸出組合に入報があつた、即ち河北棉は水禍のため五分作程度であるが、總產額は品種の改良と、植付け增加により昨年の二割增の三百六十万ピコル（一ピコル百斤）の見込みで、その內天津の紡績の使用量は五割乃至七割操短の八十万ピコル、日本向け輸出は前年同樣とすれば八十万ピコルで、結局二百万ピコルの過剩を生ずる狀態にある、したがつてこれが消化方法として天津紡の操短緩和を圖ると共に對日輸出に百七十万ピコル凡そ八千五百万圓を增加し、その代金の一部を以て一般必要品の對日輸入ならびに天津にストックされて居る多量の日貨購買費に充當し日本、北支間商取引の基礎を造らんとするもので、その結果は多大の期待を掛けられてゐる。

元聯邦官吏の日本革命論

【ワシントン發】元華府商務省極東局次長であつたチヤーレス・バチエルダア君はタウン・ホールに於ける政治敎育聯盟主催の講演會で『日本は現在熱烈なる愛國心の發揚と嚴密なる軍事統制下にあるから革命は起らないけれ共、假令無宣戰の戰爭にもせよ支那は日本軍を奥地へ〳〵と導入しつゝ、日本財的困難と物資の缺乏とを待つて居るから、可成早く平和を講ぜぬと、日本の農民と產業勞働級の中から不平分子が蜂起して革命の危機を產む』と述べ、課稅が富者に輕くして貧者に重く、社會主義思想は下層に漲つて居ると論じたさうだが、是は日本及び日本人を知らない立論の好適例である。

獨伊は飽く迄日本を支持

其意氣や壯也

【ベルリン發】ボルシエヴイズム排撃、明朗歐洲の建設を目指して結ばれたベルリン・ローマ樞軸はムツソリーニ伊首相の訪獨を契機として、いよ〳〵活潑に兩國の政治的、經濟的、文化的提携に作用し、近くはヘツス總統代理の訪伊によつて更らに一段の進展を加へたものと見られるが、この間ロンドンで續開中のスペイン不干涉委員會では、駐英リツペントロツプ獨大使、グランデー伊大使が固く共同陣を張つてマイスキー露大使の破壞的言論を痛撃し、ベルリンの言論會ではスペーイン赤化を終局の目的とする露國代表の加はる限り不干涉委員會は何度開いても目的を達することは不可能だ、との印象を强めて居る、しかして蔣政權を虜とした露國が支那に對しても全く同樣の魔手を用ひて、その攪亂を企てゝゐると云ふことはドイツ一般國民の確信するところであり、さらにスペーインを訪ねた支那使節の赤色スペーイン代表との交歡のごときも最も明瞭にこの事實を裏書きするものと見られて居るが、殊に政府諸新聞は依然として右の見地から日本の對支行動を支持したとへ支那に於ける市場を失つても日本の極東肅淸工作の達成を希求してゐることに疑ひなくこのことは、最近某有力者がある席上で明言したと云はれてゐる、たゞハンブルグ方面の對支貿易商などの間に多少不滿の聲はあるが、これは決して政府の最高方針に作用を及ぼす性質のものでなく、これについてはドイツ實業界に知己の多い伍堂使節が來獨の上、この方面の諒解を得るに資するところが多かつたと見られる。

（一面よりつづく）

を徹收する。

等實に人を喰つたお話にならぬ迷案である。げに、極東の安定勢力として生不動尊の如く立ち上り犧牲の限りをつくしつゝ、ある我國に向てどこを押してそんな音を出したと言ひ度い。

この際我國はこうした厄介極まる第三國のおせつかいを徹底的に蹴擲しておかないと將來この、英國あたりの希望と見解が世界的常識となつて、日本の不利益を招來する危險性が充分あるので、率先的に第三國介入絶對拒否の立前から、我が解決條件として取不敢次の如きを發表すべきでは無からうかと思ふ。

即ち

一、排日抗日根絶の爲徹底的諸機關の改變。
一、防共協定締結と露支修交斷絶。
一、蒙古聯盟自治政府及北支の聯省自治權の承認。
一、北支自治權地域內の日本駐兵權の承認。
一、北支政權管內に於ける一切の利權契約締結權利の賦與。
一、行政部門に於ける日本の指導地位の承認。
一、事變に關する一切の損害賠償。
一、滿洲國の承認。

等である。

（以上は勿論もつと研究され可きも）

かくしてあくまで直接交涉とし第三國の介入する余地をなからしめ、公然明確に我が國の意志を表示し以て種々なる國際的陰謀蠢動を制壓すべきであると信ずる。

（……）（……）

日イ新條約が羅馬で正式調印

【東京發】日伊兩國間の通商條約追加協定は堀田駐伊大使とチアノ外相の間に去月三十日午后六時半ローマに於て正式調印を見た尙同協定は今春草々の樞密院本會議に上議、批准を經て効力發生を見る筈

避難民が香港へ

【香港發】支那人の香港へ向け避難民は約廿五萬人と推算され病院は超滿員となり、病者の中には舊監獄に收容された者もあり市當局では避病院まで公開收容準備をしてゐるが、續々と押寄せる無數の避難民全部の收容は困難と見らる

銃後献金婦人會へ本社は後援を斷る

聖市に生れた在伯母國銃後献金婦人會は其の主旨に大賛成であつたので本社は他社並に後援者の列に加つて來たが、其後同會は內訌の絶ゆること無く、中には設立の精神を沒却したやうな行動を取つて居るものが有るから、マジメに愛國運動を考へて居る吾が社としては斯かるものを後援するは潔しとしないので、昨年限りで後援方を斷り去月卅一日を以て同會へ其旨左の如く通告して置いた尙本社としては在伯同胞愛國運動の體面と婦人界の融和と向上發展を希望する爲めに速に同會の解散を希望するものである

一母國銃後献金婦人會後援脱退ノ件

拜啓、曩ニ貴會ガ組織サルヽヤ御依賴ニ依リ弊社ハ其ノ創立御主旨ニ賛同シ、他社ノ驥尾ニ附シテ微力乍ラ後援方ヲ引受ケ申候處、最近貴會ノ內容ヲ觀ルニ醜態續出シ頭初ニ於ケル設立精神ハ似而非ナルモノ有之事ヲ太ダ遺憾ニ存ジ、本年限リニテ後援方御斷リ申上候ニ付キ御承引相成度此段御通告申上候　敬具

昭和十二年十二月卅一日

南米新報社

在伯母國銃後献金婦人會御中

優良みかん
苗木森部
ノロ線グワイサラ驛郵函六一
又はリンス驛郵函二〇

CAMBIO
CASA COELHO
Fundada em 1900
―兩替―
日本金、ドル及びリブラを他店よりも必ず御利益になるやう兩替します一度お試し下さい
サントス市、プラサ、レプブリカ四五（マルチン、アホンソ八〇番の角）
電話二五〇二番
カーザコエリヨ

呼寄
法律
相談
明穗事務所
（海興直グ上）
Rua Felipe de Oliveira 21
4and. Sala 8
Telef. 2-3444 C. P. 1907
S. Paulo

伯国最新進出品
安價、堅牢、優美
絹張
日傘
製造元
ノロエステ線アラサツーバ市
郵函三〇
守進律夫

安瀬
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL·300
ARAÇATUBA.N.O.B.
安瀬商會
本店 アラサツーバ市
事務所 精米所 珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンパ 內外雜貨 食料品 珈琲 フバ工場
支店 ヴアルバライソ

謹賀新年
資本金百万圓 棉花輸入年額三千五百万圓
郡是織維工業株式會社伯國總代理店
棉花商
貿易商
株式會社小西商店
支店
代理店
ハルビン　サンパウロ
ボンベイ　ラングーン　ベールート
モントリオール　モロツコ其他十數ケ所
Caixa Postal 4003
S. PAULO

歸らぬ船奇蹟の生還
死の海に漂ふ
其航程三百浬四週間
最後に青島を脱出した人

【大連發】粒々辛苦二十年の權益を捨て、病妻を思ふのあまり青島最後の引揚船原田丸にも乘らず一家三人大連目指し片々たるジャンクを操つて茫洋支那海に脱出したまゝえうとして消息を絶ち安否を氣遣はれてゐた「歸らぬ船」の主高松住吉（五一）妻ふさよ（三四）雇人金乘元（二一）の三人は支那海の荒波にもまれ暴風雨の襲來を受けること三度び、万死に一生を得て廿八日大連市老虎灘海岸に漂着した、去る一日青島出發以來實に航程三百浬四週間、まさに奇蹟の生還である、以下は大連市乃木町第二アパートの假住居に落着いた高松が病妻をいたはりつゝ、語る死の漂流談である。

青島の空氣が非常に惡化し最後の引揚船原田丸がいよ／＼四日に出帆ときまつたこれは愚圖々々しては居れんとこの時やつと俺れ達も引揚の決心を固めたしかし妻は身動きも出來ぬ

病床にあつてすし詰の原田丸に乘ることなど思ひもよらない、その上永年使ひなれたジャンクを捨てゝ行くのも悲しいし、何の大連まで三日か四日だ思ひ切つて走つてしまへとこいつに乘込み折柄の南風に帆を張つて青島を出たのが八月三十一日だつた、處が忽ち時化を喰つて止むなく引返し模樣を見ることにしただが翌一日も天候は思はしくない、風はがらりと變つて眞向から吹きつける北風だ後には危機が迫る『まゝよ、どうなるものか』とおれ達はとう／＼荒海に乘出してしまつたのだ二日も時化、三日も

荒天、ジャンクは全くの漂流狀態になつた、五日の正午近くおれ達の後から出帆した原田丸が遙か沖合を航行してゐる姿が見えた、それを見送つた時の心細さ――賴みの綱が切れたやうだつた、その晩から果然大暴風雨に見舞はれた、顔に當る雨粒が痛い、雨と風と暗黑の海上をさまよひながら船床で醉つて苦しむ妻が精も根も盡き果て、どうしても青島に歸つて呉れと泣きついて來たのにはさすがに途方に暮れてしまつた。

苦しい時には誰でも神を祈ると聞いたが、その時のおれ達三人も無我夢中でひざまづいて

神を祈り出してゐたよると今考へても不思議な話だが、マストのあたりがぼうつと明るくなつて一まつの光明がさして來たぢやないか『きつとお祈りしたお蔭だ』と俄かに元氣を取戻してそれからは三人共非常に張切つて來た、それから四日ばかり過ぎた日、洋上高く一臺の飛行機が飛んで來た

見れば翼にあざやかな日の丸だ、あの時のうれしかつたこと、おれ達が狂氣のやうに日章旗を振つて呼びかけると向ふも氣づいてすうと下降、ジャンクのそばに着水した、海上警備の軍艦〇〇の艦載機らしく『どうしたんだ』と

聞かれるまゝに事情を説明すると乘つてゐた軍人が『そりやえらい』とひどく激勵して呉れた上二三時間そのまゝ、一緒について來てくれた、果のない大海原で日本の飛行機に護送して貰ふなんて夢にも考へなかつたことだ、別れてまたひとり旅を續ける中二度目の嵐に襲はれた、前のより猛烈な時化で忽ち舵をこはされてしまつたが必死になつて遙かの島に漂着した後でわかつたのだがこゝは千里島といふ無人島だつた、處が既に二隻のジャンクが避難してゐた、しかも乘組んでゐるのは支那人ばかり十名、いづれも

恐ろしい顔つきでおれ達をにらみつけてゐる、こいつはいかん、こゝで戰つたら殺されるばかりだと早速一策を案じ積み込んでゐたうどんと途中釣上げた魚を提供して彼等の機嫌を取つて置いた癪にさはるが仕方がない、その翌日のこと舵を直したり出刄庖丁をといでゐると先方ではおれが戰鬪準備をしてゐるのとでも感違ひしたかおれをジロ／＼眺めながら大鎌をとぎ出した、瞬間無氣味な戰慄が背筋を走つておれははて、船に逃げ込み大急ぎで沖に乘出したが、別に追つてくる樣子もないので

思はずホッとした

それからはまた連日荒天の海上を漂流だ、出帆の際持込んだ米四斗、鑵詰類水五斗はすつかり食べつくし飲みつくして今度は饑えが容赦なく迫つて來る、僅に魚を釣つてこれを食糧に三人の命をつなぎながら出發以來十六日目、漸く大連を距たる四十浬の海上に達した、もう六時間の航程だと思ふ間もなくその夜三度猛烈な暴風雨に襲はれて舟は逆流翌日またも一つの島に押し流されただが天祐か、こゝこそ

大連水産會社出張所水上署派出所のある海洋島だつたのだ。おれ達のジャンクが行方不明といふ報知に心配してゐる處だつたのでいやもう大變な歡迎振、死の手をのがれて來たおれ達三人は

感極まつて何もいふことが出來なかつた、滯在五日の後大連に向つたがまだ風の調子が惡く漸く四週間目に老虎灘にたどりついたのだが本當によく助かつたものだと我ながら驚くばかりだ、これが神の加護とでもいふのだらう。

何人もどゞの
つまりや神賴み

女ながら和平の一役
さすが日本婦人の血
保定警察秘書長の李女史

【保定發】戰禍の洗禮を受けた保定城の治安も全く回復し、二日には逃亡中だつた警察署員三百名も再び糾合され警察局も再建され、續々歸還した市民も枕を高くしつゝ、平和境再建の業務にいそしんでゐる。初代警察局長劉清璧氏（三四）こそ大の親日家で皇軍入城の際、北門を開けて皇軍を導いた勇士であるがこの親日青年局長の片腕として大和撫子の血を引いた麗人秘書長が水際立つた活躍ぶりを示してゐる。

此麗人は李みさを女史（三〇）で颯爽と仰ぐ今日の彼女にもたづぬれば奇しき運命の哀史が秘められてゐる彼女の

母は立原キヨコといふまぎれなき日本女性、彼女の父高惠樹氏が日本の士官學校に留學中、キヨコさんとの間の國際愛の結晶としてできたのが、みさをさんであつた。彼女が七歳のとき高氏は支那軍に仕官する身となり、愛人キヨコさんを伴つて歸國し、爾來累進して陸軍少將にまで出世し、天津督軍參謀長までやつたが病を得て數年前死去した。その間保定女學校を卒業し幸福に育つた彼の女は北平國民大學生李鑄と結婚して康麒（一二）康藺（一〇）康然（七ツ）の三兒さへ設けたが、愛する夫は昨年

他界した。なげきの彼女は、今は亡き夫の忘れ形見三兒を育成すべく固く決意、あらゆる困苦や誘惑と鬪つた。そしてさすがは日本人の血を受けた貞婦としての評判を得て安居の此の頃皇軍の入城を迎へたのであつた。彼の女の貞節が香月司令官の耳にも入り警察局の女秘書長として採用され、母の祖國となき夫の同志民衆のため、赤誠をさゝげて奉公にいそしんでゐるのだいかめしい警察にやさしい女秘書長、これも新興北支なればこそだが、この麗しい名警官の出現にはさすがの市民が驚いたのも當然だテン足をして

奥深くチッ居してゐた過去の支那婦人から見れば、この女警官こそまさに驚異の存在に違ひない「今に女局長が出現するぞ」と驚歎する市民さへあるが、彼女の麗しい心と嚴格な執務ぶりにルーズな支那警官も見習つて能率が大いにあがつてゐるといふからうれしい。朝寢坊の警官も「けふも朗かな女秘書長の笑ひ顔がをがめる」といふので朝の出勤率は百パーセントだとある

聞くも唯だ涙
肉彈兵
敵陣を衝いて

【上海發】去る十一月廿日未明兩角部隊は敵の難攻不落とたのむ老陸宅奪取を目指して行動を開始したが、同陣地は名にし負ふ堅陣で二重三重の鐵條網を張り繞らしクリクを利用してコンクリート造りのトーチカを構築して、おし寄せる我が軍に對し頑強に抵抗し、流石の我が

精鋭部隊も攻めあぐんで居た、折しも同部隊配屬の加賀一等兵は『隊長私に機關銃座を破壞させて下さい』と手製の竹筒に爆藥を裝塡した爆彈二個を抱いて降りそゝぐ十字砲火を巧みに避けながら敵陣目掛けて突入し銃座に迫ると見るや敢然銃座をめがけて爆彈を投じ、機關銃座を宙天に舞ひ上らせ、更らに殘る一彈を抱いたまゝ、一躍第二の銃座に迫らんとした際、敵彈の齊射に片腕を奪はれたが、ひるまず前進を續け遂に目的地の銃座に達した、この時加賀一等兵は猛然銃座に爆彈を抱いたまゝ、肉彈となつて突貫、遂いに二個の

銃座を潰滅せしめたのである、部隊長はこの超人的肉彈勇士の奮戰に感謝しつゝ、今だぞ、突込めと軍刀を揮り上げて全軍號令壯烈なる肉彈戰を演じ、激戰數刻の後遂いにこの堅壘を陷れたのであつた、この勇壯無比、鬼神も泣く肉彈一等兵の輝く武勳は兩角部隊の老陸宅占據の赫々たる戰史と共に上海戰の歷史的勇戰として全將士稱讚の的となつて居る。

市の社會局で
銃後の家を設く

【東京發】銃後の強化を目指す市の社會局では出征將士の遺家族で生活に困る者のため實費程度の室代で貸すアパートを造ること、なり準備を進めてゐたが、最近『銃後の家』と名稱も定まり、取敢す既設のアパートを改造することになり目下適當なアパートを搜してゐる。遲くも今月中旬までには收容出來る見込みであるアパートは四ケ所で約百世帶を一室三圓程度の室代で貸せるので社會局では一日も早くと準備を急いでゐる。

殘虐の妖劍青龍刀と
破邪顯正の日本刀
發祥から既に雲泥の相違

【承前】先年英國の皇太子殿下が御來朝なされた折、日陸軍戸山學校で日本刀の試し斬りが行はれたが、餘りにも見事な切れ振りに大兵肥滿の御附武官の一人が我が腕並の程をと許り進み出で氣合一聲力任せに斬り下したのはいゝが卷藁一向切れなかつたので流石の武官も赤面して引き退つた事はこの間の事實を如實に物語つてゐるものではないか

△

次に日本刀の切れ味を示す事例を少し許り述べて見よう。承久の亂の折、畏くも後鳥羽大皇親作の御劍を奉戴した筑後六郎左衞門尉が竹田七郎の乘馬の首を手綱諸共一刀の下に切つて落した事は、朝鮮征伐の時黑田長政の家來が南山の名刀で猛虎の首を切つて捨てた話と共に有名なものになつてゐる

△

新田義貞が稲村ケ崎から鎌倉へ亂入した時北條方の長崎勘計由左衞門は來太郎國行が百ケ日間八幡宮に參籠して鍛えた面影の太刀を振かぶつて、若宮大路で奮戰した。その時群がる新田の勢へ驅け入つて、敵の甲を割り、鎧を切つて、屍の山を築いた

△

それで新田勢は遠巻きにして弓矢で射つた。勘計由左衞門は詐つて一ノ鳥居の下で馬から降りて仆れた、新田の軍勢は首を取らうとして犇々と近づくと『戰さに疲れて晝寢をしてゐるのに邪魔する奴があるか』と怒鳴つて飛び起きるや近づく敵の鎧甲を切りまくり、遂に血路を開いて落延びてしまつた、その後面影の太刀はそのまゝ行方不明である

肥後の細川三齊公の所に三十六歌仙の名刀があるが是は不正な政治をした役人三十六人を斬つて捨てゝからこの名が與へられたのである。

六本切の銘刀といふのがあるが夜忍び込んで來た盜賊三人の足を飛び起きると同時に六本一度に斬つたのでこの名を付けたものである

△

駿河の住人大村加卜の鍛へた刀でやはり大牛の頸が一息に飛ばされたり、川中島の激戰中上杉謙信が愛刀兼光で敵の鐵砲を見事切つたなど、日本刀が想像以上の切れ味を示す話は枚擧に暇がない。

△

日露戰役の際、長沼挺身隊が露軍に包圍されるや隊長に万死を決意して數倍の敵陣に躍り込み群がる敵を滅多斬りにして勇名を轟かせたが、この時戰死した軍人の一人が敵の鐵砲を半分程切つた。その鐵砲は宮中の振天府に收められ今日に至るまで武勳に輝いてゐる。

△

旅順口の閉塞隊員が敵前に迫り、いざボートを下すといふ間際に船が沈んでどうしても降ろすことが出來ぬので思案の末日本刀で銷をきり落し、漸く目的を果したといふ事實もある。

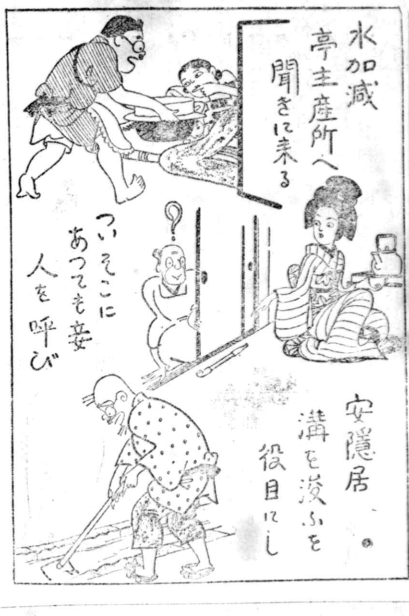
先年上海戰爭に臨んだある將校が鬼塚義國の名刀で實に四十八人を斬り倒したが刄こぼれ一つ見られなかつたといふ例や、同じく同事變で栗原少尉が十六人を斬つた上機關銃彈を背負つてゐた支那兵を彈の上から袈裟がけに斬つたが、後で刀身を檢べて見た所、彈の眞鉛が喰ひ込んでゐたさうだ

△

しかしこの刀は美濃關傳ではあつたが無銘の作だつた今回の日支事變に當つても勇猛果敢な我が士の働きを日々の新聞が報じてゐるが全く日本刀にとつては人間を斬ることなどは問題外で鐵甲でも防彈チヨツキでも刄向ふものは遠慮なく斬り倒す神秘力が湛へられてゐるのだ。

（つゞく）

川柳漫画
井伊平六画


水加減
亭主産所へ
聞きに来る
ついそこに
あつても妾
人を呼び
安隠居
溝を浚ふを
役目にし

●懸賞作文募集

左の規定により小學校生徒の作文を募集し優秀作品に對しメダーリヤを贈呈します、振つて應募するやう各學校先生方並に父兄の方に御配慮をお願申上ます

●題『日本人』

一、十二字詰五十行以内に認めること
一、締切は二月廿八日
一、學校名と學年別及び氏名年齡を明記すること
一、封筒の表に赤字にて『作文』と記入して置くこと
一、發表は三月中旬致します

聖市　南米新報社
Rua Pires da Motta, 381 S. PAULO

縮小堅實家の
海興支店

海外興業株式會社伯國支店では先來事業の整理に着手それに伴ひ職員の移動を行つて居るが、先づ邦人のブラジル移民史に最も縁故の深かつたリベロン出張所の廢止とレヂストロ、セツテバラス、アニユーマス等の整理に從ひ、リベロン駐在員村井氏は支店庶務に、イグアツペ植産部の岡本氏と支店の東後兩氏は東京本社勤務を命ぜられたと

聖市日本人會
定期總會

別項廣告の通り聖市日會では來る九日（日）午后一時から日本クラブで定期總會を開催し會計報告や評議員の改選を行ふ由だが評議員選擧は是までの大選擧區制を小選擧區制に改めると

農家の登錄無料

聯邦農務省では農業及び牧畜業者の登錄は全く無料で出來る旨を佈告し、違反者は其筋へ告訴するやうに注意をしてゐる

呼寄証明發給數

三領事館（聖市バウル－及サントス）昨年度の呼寄証明發給數は合計百九十六件二百八十二名で内譯サンパウロ百五十七件の二百十二名、バウル－十九件の三十三名、サントス二十件三十八名だつたと

カナリヤ種
玉ネギ
CASA HAMAOKA
濱岡商店
ルアセーレス 一二
電話 二、七五八一
郵函 九九三

白石食堂
アラサツーバ

定期總會開催公告

來ル一月九日（日曜日）午後一時ヨリ會則第十八條ニヨリ左記事項報告協定ノタメ日本倶樂部ニ於テ定期總會開催仕ル可ク候間御出席相成度候

左記

一、前年度會務及ビ會計報告
二、次年度豫算案ノ審議
三、評議員ノ改選
四、會則一部改訂附足ノ件
五、其ノ他

一九三八年一月一日

サンパウロ日本人會々長代
副會長　明穗梅吉

サンパウロ
日本人會々員各位

カーザ東山
ノロエステ總代理店
間崎三三一
プロミツソン
郵函 一六番
電話 五〇番

法律翻譯呼寄歸化諸願書
聖市カルモ街一八番五階七三－七五番
電話二－四三五八　郵函三七三〇番
辯護士 公證翻譯人 座喜味盛德

御用命を承はります
寫眞出張撮影
古川豊
聖市 チワキンタブラ街一一八
電話 七－二八九九

胃腸病に
わかもと
錠剤
ニセモノ有リ レツテルニミツワ付なら御安心 商會

淺倉歯科院
聖市グローリア街三五二
電話二－六八四八
◉毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352
S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

[illegible]病に
わかもと
錠剤
ニセモノ有リ レツテルニミツワ付なら御安心 商會

北大醫學士
今田求
診察時間 午前九時ヨリ 午後五時マデ
リンス市
電話 一四三
郵函 二〇三

結核病に
わかもと
錠剤
ニセモノ有リ レツテルニミツワ付なら御安心 商會

料亭 千鳥
ピネイロス フエルナンヂアス 五二
（女給さん數名入用）

老衰を防ぐ
わかもと
錠剤
ニセモノ有リ レツテルニミツワ付なら御安心 商會

歯科醫
寶臣衛
アラサツーバ市
郵函 二〇八

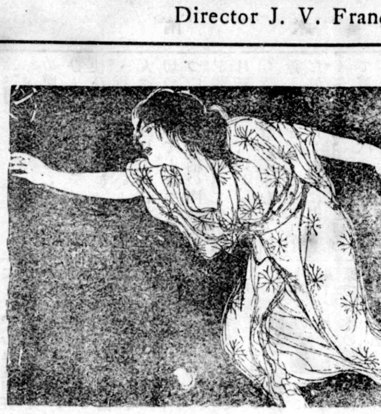
弱い子に
わかもと
錠剤
ニセモノ有リ レツテルニミツワ付なら御安心 商會

繞る瓦解の人々

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

三〇　二人の武士

長六はおかねと組合つたまゝ川に落ちたが、長六は舟乘りのことゝて水の中では自由がきく、ところがこのおかねは、上總東金の生れではあるが、九十九里にて育ちしことゝて水泳にも達してゐる、長六は隅田川にて覺えた水泳、おかねは太平洋で覺えた水泳、かうなると素養がちがふ、長六はおかねのために水を呑ませられてこれにはおどろいた、苦しいから水面から顔を出すと又水へ突き込まれる、長六はおかねのすがるを潜り脫け中洲に這ひ上る、續いておかねも這ひ上つてこゝまでは組合つたが、長六はすきを見て又川に飛び込み新大橋の岸まで泳いで來て、こゝから駈上る、これを見ておかねも岸から飛び上つて「泥棒まて」とうしろから組付く、上になり下になり格闘してゐたが次第に疲勞して二人とも睨み合つたまゝ、ウムと肩で息をしてゐる、こうなると格闘する氣力はない、すると大橋を前に見た安藤對馬守の屋敷から出て來た二人の武士、それが二人を見て



武「何んだ貴樣達は水に濡れてゐるところを見ると心中の爲損じか」

かね「イエそんなものではございません、此奴は大泥棒でございます」

武「何んだ賊だと、此方へ來い、やい立て〳〵立たねえか」

長六の手を取つた、長六は太い息をついて

長「私は泥棒ではございません、この女の主人のところから金を借りましたが、それをこの女は泥棒だと申します」

武「一應調べてやるから此方へ來い、立たねえか何、体が疲れて立つことは出來ぬと、不埒な奴だ貴樣は盜人に違ひない、二三日前に買つた新刀をこゝでためしてくれるその首をぶつぱなすぞ」

拔刀腰になつてパチンと鍔音を立てた、長六はハツとおどろく同時にスツクリ立上りヒョロ〳〵と五六間歩いた

武「立てたか」

長六はあたりをキョロ〳〵見て

長「有難うございます、御蔭樣で腰が立ちました」

武「此方へ來い、女、貴樣も一しよに來い」

と二人をつれて對馬守の屋敷に入り長屋に連れて來たが

武「中村、こゝを少し借りますよ妙な化物に會つて連れて來たから」

と聲をかけるとそれへ出て來たは、五十四五になるこれも武家、内から來る灯の光で二人を見て

△「土井さんこの者どもは何んでござる」

土「男は賊だそうだ、さァ此方へ入れ、漏れた着物は脫いでしまへ」

二人は素裸になつて庭より入る、中村といふ人が蓆を敷いてそれへ二人をすはらせた、時にこの二人をつれて來た土井といふものは緣に出て

土「貴樣達は何者だ、隱すとためにならぬぞ」

といはれておかねと長六が土井をヂツと見たが、年頃は三十四五、色の白い顔の道具の揃つた好男子それに武家としては言葉つかひがあらひ、一体この人は何者だらうと二人は顔を見合せた

土「俺も役人だ、して見れば貴樣達を調べる資格はある」

長「左樣でございますかえ私は深川の小名木川にゐる長六といふ、この邊の舟へ品物を賣つて歩く商人でございます、今夜濱町川岸の姐さんに頼まれまして姐さんとお客樣を舟で、向島まで送つて歸つて來ましたがこの中洲に着いてゐる船でいたづらを致しまして、姐さんからもらつた金を取られまして」

土「いたづらとは何か博奕か」

長「へェ左樣でござゐまする」

土「金を取られてそれから何うした、賭ち資本をこしらへるために盜人をしたか—」

お正月は娘さん達が
お料理を習ふ好機會
上達の秘訣は總てに囚れず
先づ一種に就き妙味を工夫

名稱について

お料理の名稱は決して一定不變のものではなく、たとへば魚に塩をふりかけて、ある時間を置いてから焼く料理に對し『塩焼き』といふ名はもつともたしかな名ですが、これを『潮やき』『濱やき』乃至は『霜降やき』など勝手な名稱をつけても誰も文句は云ひますまい、かうした同じ料理法による料理の名前が、材料のちがひと相まつて何萬何千種とあるのです、それ故お料理を習つて行かうとする人は、徒らに名前にとらはれずアジの塩焼を十分上手になることができるまで研究することが必要で、けふはアジの塩焼き、あすは霜降やき（たとひ少しは焼き方がちがふとしても）とむやみに大同小異のものを作つてみる必要はないのです。

要するに塩焼ならば鹽焼の一番よい方法をしつかり把握すると同時に、その料理に適する材料を知るやうに心掛けることが肝腎なのです

材料について

たとへばバタならバタで、その材料が手近にないからせつかくおいしさうな料理のこしらへ方を聞いても作ることが出來ない……とよく嘆聲をもらす人がありますが、これも材料にとらはれてしまふからいけないのですどんなお料理でも必ず主となる材料とそれに附屬する材料があることは相違ないがその主となる材料を他の材料とかへて見る工夫と、その附屬的材料がどういふ役割をもつものかを檢討してみるだけの自由がほしいと思ひます、そうすればバタがないからとて斷念するにも及ばず、バン=ヤサラダ油などで代用出來る方法がいくらも發見出來るでせう

たとへば、パン粉がなければ食パンをあつく切つて二三日乾かしてから卸金にかければそれで結構代用が出來るし、さらに焼パン粉の代りに燒麩をちよつと煎つてすりつぶしても結構間に合ます

調味について

大さじ何ばいとか何グラムとかいふ調味標準を守ることはよいことですが、これもあまりとらはれすぎてはいけないのです、同じ料理でもそれを指導する人の嗜好によつて、調味の標準が皆必ずしも一定してゐないからです、だから調味標準は一定してゐる樣なものでアまた同時にそれを作る人の自由でもあるのです、とらはれきつてしまふ必要は絶對にないのです、それと共にさらに進んでその調味標準を基礎として、獨特の妙味を創造する工夫が願はしいものです

たとへば西洋料理の調味は主に塩とコセウですが、その調味を基準として醤油と砂糖を按排し、外人にも日本人にも喜ばれる一つの味加減を作り出すことはお料理を習ふ者に與へられた一つの樂みです。

形式について

これもとらはれる必要はありません、材料の取合せでも、切り方でも、また器などでも、自由に工夫してよいのです、料理屋の形式通りに眞似る必要はありません、めい〳〵の繪畫的藝術心にうつたへてやればよろしいのです

乳バンド異變
姿態美にばかり心を奪はれ
恐しい病氣を引起す

夏は衣服がうすくなる結果御婦人は殊に姿態美に氣をつけすぎて衛生上非常に無理の多い場合が多いやうです、まづ第一に乳バンドですが、殊に處女の場合は乳房の發育を妨げるばかりでなく、胸部の發達にも障害があります また無理に上から壓迫するとやたらに乳房の血液循環を悪くし、却て形を悪くするばかりか乳首から種々の化膿菌が、逆に乳腺にゆきそこから病菌を作ります

この場合は局所は赤く腫れ、熱を持つていたみます、また乳房の皮脂肪または毛根から菌が侵入して腺におよぶ場合もあります、これは授乳中の婦人に多い病氣ですが、處女でも不衛生な乳バンドに原因することが往々あります、療法としては、すみやかに醫師の診療を受けることで局所を水でひやすか硼酸水（二ボルセント）の濕布をして懸垂ホウタイをしておきます、姑息な手當をしてゐると乳腺の後方、即ち胸廓前面の膿ヨウをおこし全身の敗血症をまぬかれぬことがあり、夏は殊に汗が出ますから清潔にしないと種々の病菌に犯されますもし授乳中の婦人で、輕度の場合なら乳汁をしぼり出すと治ることもあります。なほにう腺の病氣でもつともおそろしいのにかゝるのは大概四十歳以後の婦人に多いのです

以上の如く乳の病氣は婦人にとつて、自然の發育にまかせて、常に清潔にしなければなりません、もし垂ちゝで容姿の上から是非ともちゝバンドの必要な場合でもさらし木棉でキリキリまいて、その上に帶をしめる等上から壓迫式のものは避けなければなりません、この場合は、垂れてゐるのを上から引上げるやうな懸垂バンドをお用ひ下さい

なほ姿態美に重きをおいて、腰部をひやし婦人病になるのも夏季から秋にかけてもつとも多いのです、職業婦人や女學生は、服裝の簡便から來る子宮内膜炎が大へん多くなりました、中でも月經時の旅行、海水浴などはつゝしむべきでこれは姿態美とは別な問題ですが風邪を引ひたり黴菌が侵入したり突然液の循環に變化をおこして急に多量になるとかまたは反對に止血することがあります、長途の旅などは下腹部を壓迫して充血をおこし出血がいちぢるしくなりますから氣をつけなければなりません

月經時は殊に腰部をひやさぬことで、平常でももし急性の帶下を見たときは、かならず冷えからですから安靜にして保溫を必要とします慢性重症になると、處女でも手術を要することがありますからおそるべきものです（醫學博士石原りゆう女史談）

火に掛けた野菜類は
榮養分が半減
どんな煮方がよいでせう

お野菜に含まれてゐる主な成分は、含水炭素と無機鹽類とヴィタミンですが、そのほか蛋白質も脂肪分もほどよく含まれてゐて、私共の身體には常に缺いてはならない食物であることはいふまでもないでせう、ところが野菜の主な成分である鑛物質や豐なヴィタミンは湯に溶けて了ふので、調理の際失はれ易いのです

日本人の樣に菜食主義の多い家庭では、煮炊きするために折角の榮養分が攝取出來ないでは大問題と云はねばなりません。丸ごと榮養分をとるには、生の儘食べるのが理想的ですが、衛生上又不消化などの点から言つて生食は危險ですから、煮る時にどうすれば最も榮養物を失はないで濟むかに工夫すべきです。人參を煮るとその中の榮養分がどの程度に減るかといふと、生の人參の各榮養素を百パーセントとすれば、煮た場合は蛋白質が五〇％　脂肪が二一％　灰分が三五％　粗纖維が一二%でヴィタミンは殆どみとめられない程度に減つてしまふのです。榮養分をなるべく失はない

に方はゆで汁を極少くすることなるべく皮つきにすることほうれん草などはゆでたあと何度も水にさらしたりすると、大事な榮養分を逃してしまふことになります。レポーリヨやスピナツヒをゆでたら榮養物は殆ど汁の方に移つてしまひますからゆで汁はなるべく利用して食べるがよい、又青物はゆで色をよくするために重曹を入れますが、重曹はヴィタミンを壞しますから、客膳以外は使はぬ方がよろしいのです。又馬鈴薯などは

皮の部分に貴重な鑛物質を有してゐるので、ゆでる時は皮の儘の方が榮養分が失はれることが少いし煮るよりも蒸す方が榮養分が外部へ滲出しない点で一層結構です

アルファセ、レポーリヨ、大根、人參などはよく消毒するか又は薄鹽に漬ける程度で、なるべく生で食べるやうにしたいのです。

一寸した注意で
「好感を人に與ふ」
社交上心得置きたいこと

名刺について

◉……名刺は自分を代表する大切な使命を持つてるものです。はじめて訪問、非常にいそがしい家の訪問等には必ず持參致します。公用に肩書のついたものを私用には自宅の住所の入つたものを用ひます

◉……訪問先では取次が見えたらすぐ取出し、字を先方に向け、右手の指先で名刺の右肩をはさんで、かるく一禮して差出します

◉……集會などで、多勢の男女があつまつて紹介されたときは、婦人の方から先に向つて名刺をだしてはいけません、男子側から出されたとき、はじめて出すなり、場合によつては、たゞ口頭で挨拶するだけでよいのです

◉……名刺をうける心得としては、出されたら、會釋しじうけ・一寸頂くやうにします。取次人としての心得は名刺うけのお盆を出してうけすぐ主人に取次ます

◉……主人が客から直接名刺をうけたときは、一禮して拜見し、住所姓名を頭に入れてから挨拶します。名刺をうけとつておきながら見向きもせずそばにおき、相手の苗字を間ちがへたりするのは非常な失禮です

取次について

◉……訪問者が目上の人である場合は、取次をうけたら、すぐ自分で玄關へ出迎へます。親しい友人間でもかうした方が丁寧でもあり親しみも加はります

◉……取次人は帽子等をうけとり適當に處理して、先に立つて客間へ案內します階段を登るときは客を先にします（降りる時は取次人が先き）客間の入口で、取次人は腰をかゞめ、客を先に入れ、後から入つて席をすゝめます、訪問者が主人より目上の人ならば、正座に席を設け、同輩以下なら主人と向ひ合ふ樣設けます

應對について

◉……來客を長く待たせない樣、先客でもあつて止むを得ない時は、そのむねを傳へて雜誌、アルバム等をすゝめておきます。そしてとりあへずお茶をもてなします

◉……主人が客間へ入りましたら、客を上席に招じ、初對面なら、その挨拶をします。知己なら時候の事、家族の安否等を一通り挨拶し、用談にうつります

◉……年長者は若い人に向つて、話を切り出すやうにしなければなりません。年下の者は差し向けられた話にてきぱきと應答し、話の接ぎ穗をうしなはないやうに氣をつけます

紹介の仕方

◉……紹介する二人のうちの目下を目上に、自分に近い關係者を遠い關係の方に紹介すべきです

◉……『先生、母を御紹介いたしたいと存じますが……母でございます（母に向つていくらか小聲に）いつも御世話樣になつてゐる〇〇先生です』といふ風に同輩の時は男子を婦人に紹介するものです

わけなく取れる
ソバカス
—黒砂糖などを使つて—

けふこの頃の強い陽に焦げた顔をそのまゝにしておくと、それが醜いソバカスとなつて殘ることがありますからくれ〳〵も御注意のこと——ソバカスが出來たなあと思つたらオリーブ油をちよつと温めて、綿なりガーゼなりにつけて顔面にぬると同時に、指先で五六分間マツサージしますそして一應油をふき取つてから、鷄卵の白味少量に牛乳數滴（若しくはトマテのしぼり汁）をたらし、黒砂糖一さじ分を加へてゆるく練り合せたものを顔一面に塗ります、すぐ乾きますから再び塗ります、これを三四回繰返したら湯タオルでふき取ります、そのあとへレモンのしぼり汁をグリセリンにちよつと落として塗つておけば大抵の陽焦げから生じたソバカスはとれてしまひます、試してご覽なさい

週刊南米の新年號を讀みて

聖市　一讀者

◇廣い聖市のその中に邦字新聞其の中で一番目立つは週刊南米

◇夫婦揃つて讀んだなら家庭教育其の記事で夫婦平和の源となる

◇見れば見る程面白い大人子供に至るまで週刊南米讀みませう

◇讀んで好いやら悪いやら自身の心迷はずにあつさり週刊讀みませう

◇何時迄讀むも飽きませぬ社說小說外の記事皆揃つて讀みませう

サントス行

南子

△白砂のなぎさに足跡を殘しつゝ、今日ぞ樂しき師弟の團欒。

△師をかこみ海のさゞめき聞きながら握り飯食ふ吾等はたのし

△久方に眺むる海のなつかしきこゝぞ我等が上陸の地

△海原のさゝやき聞けば吾が心あこがれ多し故鄕の空

△氷の如き清水求めし師と吾等炎けつく濱に咽喉うるほせり。

△歩みつゝ、汗ジリ〳〵とにじみ來てフト思はるゝ父母の冬

南鳴

△海眺つゝ、久方ぶりに河童かな

△カレガドール玩具をソツト出して見る

△海歸へり汽車の出際に大あはて

△おくれじなわれも〳〵と海歸へり

略儀乍ら紙上
御禮言上

新年草々御懇篤なる賀狀を寄せられたる先輩辱知各位に對し、御芳志幾重にも難有御禮申上候

改めて爰に平素の疎音を謝し各位の御萬福を祈上候右略儀乍ら紙上を以て御禮申上候頓首

一月六日

南米新報社
同人

先輩各位

出征皇軍慰問圖書
其後受付の分

◉マリリヤ市昭英塾の分　三〇八点

◉マリリヤ第一メスキツタ小學校の分　慰問文

◉アバニヤンダーバ驛ボラ小學校の分　四〇点

以上全部追加として海軍省恤兵部宛發送濟み

ウベランヂヤより

石戸次夫

今や皇國は內憂外患、世界亦混迷の淵に沈まむとして居る、此際全人類が久しく待望して來た大神人の出現に依り一元的に統一される日は遠からず即ち皇國の國旗が球上の最高地點に樹立さるゝ時は近しと信じ、民族使命の達成に奮闘せらるゝ南米新報社の益々隆盛ならむことを祈る、小生亦尊皇報國精神の體現を期し候

ぶゑのす あいれす丸渡來
（呼寄單獨）再渡航者

（家族呼寄）

福島縣	我妻武義	外二名
和歌山	大西三代吉	外二名
北海道	森正男	外一名

（單獨）

神奈川	小牧次郎
鹿兒島	大原立雄

（呼寄）

北海道	宮袋はるい	
東京	阿蘇清	外二名
神奈川	森長四郎	外一名
静岡	渡邊節子	
和歌山	山中清枝	
廣島	武田芳枝	
沖縄	古謝オト	
仝	大城マツ	
仝	島袋ナエ	
仝	島袋トシ	
仝	島袋フジ	
仝	米須ナミ	
仝	新田ウシ	
仝	宮里カマ	

（再渡航者）

福島	芳賀長治	外一名
東京	湯目國夫	
仝	當麻三龍	
愛知	天野和夫	外三名
仝	青山一夫	
富山	河嶋外平	
和歌山	竹田清一	
仝	稻垣忠雄	
廣島	安西春子	
仝	野村峯夫	
仝	小田久一	外二名
香川	中川サト	
愛媛	高岡宇七	外二名
福岡	武田幸市	外二名
長崎	布井逸雄	外一名
鹿兒島	吉井タツエ	
仝	上村市次郎	外一名
仝	下窪豊志	外一名
沖縄	島袋武雄	
仝	翁長カマタ	
仝	城間鉄夫	外二名

以上

本船ハ來ル一月十四日サントス着豫定ニ付各關係者ハ着伯前ニ御來社入國手續濟マサレタシ

海外興業株式會社
伯國支店

聖市料亭組合
（イロハ順）

富田家　コンセレイロフルタード　一三五　電話　二—六七六七
可祝　コンデ　デ　サルゼーダス　七九　電話　二—七七二二
うめのや　コンデ　ド　ピニヤール　一〇八　電話　二—八四三〇
富美の家　タバチンゲーラ　一一二　電話　二—一七三一
青柳　タバチンゲーラ　八　電話　二—一九四八
菊水　コンセレイロフルタード　一四二　電話　二—〇六四九

同仁會地方醫局
醫學士　内田利藤次
プ、プルデンテ市

薄利多賣
品質本位
◇美味しくて
割の利くお醬油
黒島印醬油
釀造人　黒島伊平治
北西線プロミツソン驛前

精米珈琲精撰　農產物
賣買及委託販賣
瀬ノ上商會
本店　ノロエステ線　ガララペス
郵函　五〇番
電話　一二番
精米場　ノロ線　グワラサイ町